

**Internet Week 2011 DNS Day**

# **DNSを安定運用するために**

**法人顧客のDNSを運用する現場から**

2011年11月30日

ソフトバンクテレコム株式会社

営業統括 営業開発本部 SE第3統括部 SE第1部

谷田 隆貴



**所属：**

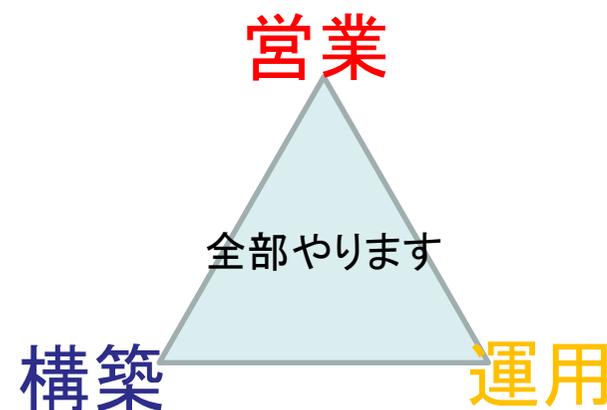
**ISPの中で**

**「法人向けにサーバの個別構築/運用を行う」部署**

**→「SIer」の人ではありません・・・**

職名:

SE = Sales Engineer  
≠ ~~System~~ Engineer



SoftBank

## そんな「SE」が構築/運用するDNS:

### ✓ 権威DNSサーバー

- お客様所有Zoneの運用
- 広域サーバ負荷分散装置(GSLB)の運用

### ✓ キャッシュDNSサーバー

- WebプロキシサーバーやMailサーバーの参照先

みんな「お客様の」DNSサーバー達です



SoftBank

## そんな「SE」の日常(運用):

### ✓ お客様の代理で運用しています

- 『お客様のご要望』ありき

- 手持ちの技術で解決できるのなら「何でもやります」

- でも、お客様は決して「専門家」ではないです

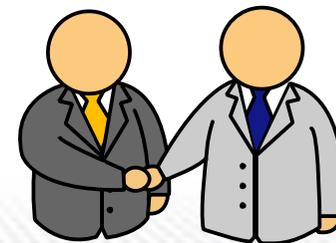
### ✓ お客様が適切な判断を下せるように・・・

- 専門的な情報をいかに判りやすく解説できるか

- タイムリーにトレンドを押さえておく必要も

- DNSSECの動向とか

- IPv6の話題なども



SoftBank

## そんな「SE」が考えるDNSの安定運用：

### ✓ 当たり前だけど、止めない・止まらない

- 監視体制は世間一般並み(と、思います)
  - プロセス数やクエリへの応答状況など
- そもそも設計時に冗長化で可用性を高めてみたり
  - 「費用対効果」問われます ← お客様のお財布
  - システム全体から見るとDNSは脇役と見なされがち
  - DNS無しでは何も使えなくなるのに…
- メンテナンスで止める時もお客様との調整は必須

**外から止められたりしたら洒落にもなりません：**

## **✓ソフトウェア脆弱性対応**

- **情報収集を頑張る**

- **いろいろな情報源を確認**

- **基本的に広く公開されている情報源を地道に**

- **お客様も情報収集を実施されています**

- **我々よりも先に情報入手されている場合も・・・**

- **ひと昔前に比べて要求されるスピード感が高まっている  
お客様だけでは内容を理解して判断する事は難しい**



**安定運用の、さらにその先：**

**✓ 有事対応(BCPとか)**

- 輪番停電時インターネット環境が停止したお客様も
  - DNSサーバーをデータセンターに移設など

**✓ 有事対応のシナリオ**

プライマリ・セカンダリ間のZone情報の同期をZone Transferで実装していて、万が一プライマリだけが災害で長期停止してしまい、セカンダリが持っているZone情報のTTLが切れてしまうと…

**• 結構、妄想力が試されます**

- 「想定外」はいただけません…

**✓ でも、限度がある ← 「費用対効果」**



**最後に:**

**インターネットと法人顧客の狭間を埋めるべく日々奮闘しています**

